

# 社協から 今月のお知らせ



守山市社協キャラクター  
もりびび

## 車いすお出かけ応援事業 ～福祉車両の貸し出しのご案内～

市社協では、車いすを使用する人の「お出かけ応援」として、車いす対応の福祉車両を貸し出しています。使用条件など詳しくは、市社協へお問い合わせください。今回は、利用者の声を紹介します。

### ・50歳代女性

今までは自家用車で車いすの乗り降りなどの動作がしんどかったのですが、福祉車両を利用することでスムーズに体力的な負担なく車いすの乗り降りができ、安心・安全です。

### ・60歳代男性

福祉車両を利用することで経済的な軽減にもなり、とても助かっています。



車いすお出かけ  
応援事業

## 守山市社会福祉協議会

☎・☎(583)2923 FAX(582)1615

✉fukushi@moriyama-shakyo.or.jp



ホームページ

## こんなときにご活用ください

通院・施設からの一時帰宅、家族での外出 など



## ある社会福祉士のひとこと



### 12月3日(火)～9日(月)は「障害者週間」

平成16年6月の障害者基本法改正で、国民に広く障害者福祉への関心と理解を深め、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的に、従来の「障害者の日」(12月9日)に代わるものとして設定されました。

本市では同期間に、市役所とすこやかセンターに啓発旗が掲げられます。

また、市障害者スポーツ協会(ユニスポもりやま)では、毎月パラスポーツ教室を実施されており、同期間の12月7日(土)午前10時からポッチャによる交流会を市民体育館で開催されます。詳しくは、下記へお問い合わせください。

☎市障害者スポーツ協会(西村) ☎090(8987)8856

佐川美術館  
「アートコラム」⑧

「手」でつくるぬくもり

学芸員・栗田 頌子  
佐川美術館

私は最近、刺し子という新たな趣味を見つけ、夢中になっています。刺し子とは布に糸を縫い付ける伝統手芸のことで、元々は保温性や強度といった布の機能性の向上を目的としていましたが、図柄を縫うという装飾性がブラスされ、見た目の美しさにも拘るようになり今に至ります。糸を縫い付けてだんだんと模様が出来上がると達成感や愛着が湧いてきます。そんな刺し子の最大の魅力は、手作りならではの温かみです。機械では表現しえない味わい深さがあります。

当館のコレクションにも、そのようなぬくもりを魅力とする作品があります。例えば陶芸の形成手法の一種である手づくねは、轆轤を用いず手の力だけで粘土をこねて器の形を作り出します。当館所蔵作家・樂直入の茶碗も手づくねで作られています。手づくねによって生み出された作品は、手や指の跡がそのまま茶碗の表情になるだけでなく、持ってみると土の柔らかさや温かみを感じられ、手のひらにびったりなじんできます。手づくねと一口に言っても、茶碗の原型を形成した後には数日間乾燥させて、飲み口や内側、台座である高台などを篋で一削り一削り形作るため、茶碗の姿が完成するまで長い時間がかかっています。

手づくねの茶碗は轆轤という道具の制約がない分、より直接的で自由な表現ができ、一つとして同じ大きさや形にならず個性にあふれ、魅力的な造形美を生み出します。この秋は、美術館で作家の手のぬくもりを感じる作品たちを鑑賞してみませんか。

※開館情報は、佐川美術館ホームページでご確認いただくか、電話[(585)7800]でお問い合わせください。